

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2011-94271

(P2011-94271A)

(43) 公開日 平成23年5月12日(2011.5.12)

(51) Int.Cl.
A 4 1 B 13/06 (2006.01)F 1
A 4 1 B 13/06テーマコード (参考)
3 B 1 2 8

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2009-251562 (P2009-251562)
(22) 出願日 平成21年11月1日 (2009. 11. 1)(71) 出願人 396012997
株式会社ベビーカプセル
栃木県足利市松田町 1 2 4 8 番地の 2
(74) 代理人 100128141
弁理士 飯田 圭一
(72) 発明者 萩原 志郎
栃木県足利市松田町 1 2 4 8 株式会社ベ
ビーカプセル内
Fターム(参考) 3B128 PA01

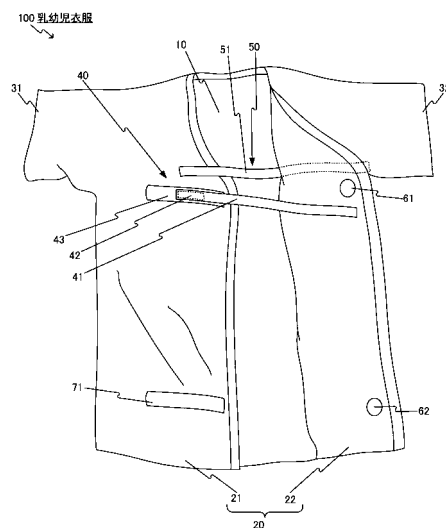
(54) 【発明の名称】 乳幼児衣服

(57) 【要約】

【課題】着用者の安全性を向上させた乳幼児衣服を提供する。

【解決手段】乳幼児衣服 1 0 0 は、乳幼児が主として着用する衣服であり、後身頃 1 0 と、前身頃 2 0 と、腕を通す袖 3 1 および 3 2 と、右紐部 4 0 と、左紐部 5 0 とを少なくとも備える。前身頃 2 0 は、左右に開放可能な状態にあり、右前身頃 2 1 と左前身頃 2 2 とにより構成されている。右前身頃 2 1 に取り付けられた右紐部 4 0 と、左前身頃 2 2 に取り付けられた左紐部 5 0 とを結んで結合させ右前身頃 2 1 を着用者の体にフィットさせる。右紐部 4 0 は、自身の端部に取り付けられた結合部材 4 2 を右前身頃 2 1 に取り付けられた被結合部材 4 3 に結合させることにより右前身頃 2 1 に取り付ける。この結合部材 4 2 と被結合部材 4 3 との結合は所定の力以上の力が加わると外れる。

【選択図】 図 1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

後身頃と、

前記後身頃に繋がり、左右に開放可能な右前身頃および左前身頃から成る前身頃と、
両袖と、

前記右前身頃に取り付けられた右紐部と、

前記左前身頃に取り付けられ、前記右紐部と結合させる左紐部と

を備え、

前記右紐部と前記右前身頃との結合態様、前記左紐部と前記左前身頃との結合態様、並びに前記左紐部と前記右紐部との結合態様のうち少なくとも 1 つの結合態様が着脱可能な態様であり、且つ所定の力以上の力が前記右紐部または前記左紐部に加わるとその結合が外れることを特徴とする乳幼児衣服。

10

【請求項 2】

前記右紐部は、右胸部分において前記右前身頃に取り付けられ、

前記左紐部は、脇部付近において前記左前身頃に取り付けられていることを特徴とする請求項 1 記載の乳幼児衣服。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

20

本発明は、主として乳幼児が着用する乳幼児衣服に関し、特に、着用者の安全性を向上させた乳幼児衣服に関する。

【背景技術】**【0002】**

従来、乳幼児が着用する乳幼児衣服として、以下に説明するベビー用肌着があった。そのベビー用肌着は、後身頃と、この後身頃の右側に繋がる下前身頃と、この後身頃の左側に繋がる上前身頃と、左右の両袖部分とで構成されている。そして、そのベビー用肌着には、下前身頃先端部と左側の脇内側部とに互いに結ばれる結び紐が設けられていた（例えば、特許文献 1 参照。）。上記結び紐を結ぶことにより、下前身頃を閉じた状態にして体にフィットさせていた。

30

【先行技術文献】**【特許文献】****【0003】**

【特許文献 1】特開 2004 - 256976 号公報

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0004】**

しかしながら、上述のベビー用肌着では、例えば、ベビー用肌着を着用した乳幼児がベビー用肌着の後身頃を障害物等に引っ掛けてベビー用肌着がずれて、その結果上記結び紐に乳幼児の首や体等が押し付けられて首や体等が締め付けられるような事故が起こる可能性がある。乳幼児は独力ではそのような事故を回避できないため、上記のような事故にならないような構造の乳幼児衣服が望まれる。

40

【0005】

そこで、本発明は、着用した乳幼児の安全性を向上させた乳幼児衣服を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】**【0006】**

本発明は、上記課題を解決するためになされたものであり、本発明の乳幼児衣服は、後身頃と、上記後身頃に繋がり、左右に開放可能な右前身頃および左前身頃から成る前身頃と、両袖と、上記右前身頃に取り付けられた右紐部と、上記左前身頃に取り付けられ、上

50

紐部と上記左前身頃との結合態様、並びに上記左紐部と上記右紐部との結合態様のうち少なくとも１つの結合態様が着脱可能な態様であり、且つ所定の力以上の力が上記右紐部または上記左紐部に加わるとその結合が外れることを特徴とするものである。これにより、右紐部、または左紐部に乳幼児の首や体等が押し付けられて右紐部、または左紐部に所定の力以上の力が加わると、右紐部、左紐部、前身頃等におけるいずれかの結合が外れるという作用をもたらす。

【０００７】

また、本発明の乳幼児衣服において、上記右紐部は、右胸部分において上記右前身頃に取り付けられ、上記左紐部は、脇部付近において上記左前身頃に取り付けられていることを特徴とする。

10

【発明の効果】

【０００８】

本発明によれば、右紐部、または左紐部に乳幼児の首や体等が押し付けられて結合した右紐部、または左紐部等に所定の力以上の力が加わると、右紐部、左紐部、前身頃等におけるいずれかの結合が外れ、乳幼児の首や体等を圧迫状態から解放するという優れた効果を奏し得る。

【図面の簡単な説明】

【０００９】

【図１】本発明の実施の形態における乳幼児衣服１００を示す図である。

【図２】本発明の実施の形態における乳幼児衣服２００を示す図である。

20

【図３】本発明の実施の形態における乳幼児衣服３００を示す図である。

【発明を実施するための形態】

【００１０】

次に、本発明の実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。

【００１１】

図１は、本発明の実施の形態における乳幼児衣服１００を示す図である。乳幼児衣服１００は、乳幼児が主として着用する衣服であり、後身頃１０と、前身頃２０と、腕を通す袖３１および３２と、右紐部４０と、左紐部５０と、結合部材６１および６２、被結合部材７１とを備える。

【００１２】

30

前身頃２０は、右前身頃２１と左前身頃２２とにより構成されている。このうち右前身頃２１は後身頃１０の一方の端部と繋がっている。また、左前身頃２２は、後身頃１０の他方の端部と繋がっている。そして、右前身頃２１および左前身頃２２は左右に開放可能な状態になっており、例えば図１に示すように左前身頃２２を紙面向かって右に開いた状態にすることができる。同様に、右前身頃２１を紙面向かって左に開いた状態にすることもできる。右前身頃２１および左前身頃２２を閉じた状態にすると、左前身頃２２の一部は、右前身頃２１の一部を上から覆うようになる。

【００１３】

右紐部４０は、右前身頃２１に取り付けられており、紐部材４１と、結合部材４２と、被結合部材４３とを備える。紐部材４１は、所定の長さを有する紐状の部材である。被結合部材４３は結合部材４２に対応する部材であり、結合部材４２と被結合部材４３とは互いに結合したり、取り外したりすることができ、着脱可能な状態にある。結合部材４２および被結合部材４３は、一定の力が加わると外れるようなものである必要があり、その範囲で様々な態様のものが想定される。結合部材４２および被結合部材４３として、例えばマジックテープ（登録商標）が想定されるが、これに限るものではなく、その他の態様のものであってもよい。

40

【００１４】

また、被結合部材４３は、例えば右前身頃２１の表面右胸部付近に取り付けることが想定されるが、これに限るものではなく、その他の位置に取り付けてもよい。また、結合部材４２は、例えば紐部材４１の端部に取り付けることが想定されるが、これに限るもので

50

はなく、紐部材 4 1 のその他の位置に取り付けてもよい。

【 0 0 1 5 】

これにより、紐部材 4 1 における結合部材 4 2 と被結合部材 4 3 とを結合させることにより、紐部材 4 1 を右前身頃 2 1 に固定させることができる。また、被結合部材 4 3 から結合部材 4 2 を取り外すことにより紐部材 4 1 を右前身頃 2 1 から取り外すことができる。

【 0 0 1 6 】

また、被結合部材 4 3 は所定の長さを有しており、被結合部材 4 3 において結合部材 4 2 を取り付け位置を変えることにより、紐部材 4 1 が右前身頃 2 1 から左前身頃 2 2 に向かって飛び出す長さを調整することができる。

10

【 0 0 1 7 】

左紐部 5 0 は、左前身頃 2 2 や袖 3 2 等着用者の左側に取り付けられており、図 1 においては紐部材 5 1 により構成されている。そして、図 1 において紐部材 5 1 の端部は、左前身頃 2 2 の裏面脇部付近に取り付けられているが、これに限るものではなく、その他の位置に取り付けてもよい。そして、左紐部 5 0 は、右前身頃 2 1 に向かって伸びている。

【 0 0 1 8 】

また、図 1 において左紐部 5 0 (紐部材 5 1) は、右紐部 4 0 とは違って左前身頃 2 2 に縫い付けることにより取り付けられている。このため、左紐部 5 0 は、左前身頃 2 2 から着脱可能な状態にはない。

【 0 0 1 9 】

20

しかしながら、左紐部 5 0 (紐部材 5 1) の態様は、上記態様に限るものではなく、上記右紐部 4 0 において説明したような着脱可能な態様であってもよい。すなわち、右紐部 4 0 の場合と同様に左紐部 5 0 を紐部材 5 1 と、(図示しない)結合部材および(図示しない)被結合部材とで構成させるようにしてもよい。この場合、(図示しない)被結合部材を左前身頃 2 2 の裏面脇部付近に取り付け、(図示しない)結合部材を紐部材 5 1 の端部に取り付けることが一例として想定される。以上のように左紐部 5 0 を構成した場合、右紐部 4 0 を右前身頃 2 1 の所定の位置に縫い付けることにより取り付けてもよい。

【 0 0 2 0 】

左紐部 5 0 を右紐部 4 0 と結合させることにより、乳幼児衣服の着用者の体に右前身頃 2 1 をフィットさせることができる。なお、乳幼児衣服 1 0 0 において左紐部 5 0 と右紐部 4 0 との結合態様は、結んで結合させる態様が想定されるが、これに限るものではなく、その他の態様であってもよい。乳幼児衣服 1 0 0 において左紐部 5 0 と右紐部 4 0 とを結んで結合させた場合、左紐部 5 0 と右紐部 4 0 とを結んだ状態で、結合部材 4 2 を有した紐部材 4 1 を被結合部材 4 3 から離すだけで、左紐部 5 0 と右紐部 4 0 とを結んだ状態を解かなくても右前身頃 2 1 を着用者の体にフィットさせた状態から解放させることができる。すなわち、乳幼児衣服 1 0 0 においては、左紐部 5 0 と右紐部 4 0 とを結んだ状態を維持させたままワンタッチで右前身頃 2 1 を着用者の体にフィットさせた状態から解放させることができる。これにより、乳幼児衣服 1 0 0 は、左紐部 5 0 と右紐部 4 0 とを繰り返し結んだり解いたりする手間を省略させることになる。

30

【 0 0 2 1 】

40

そして、本発明は、例えば乳幼児衣服 1 0 0 の着用者である乳幼児の首や体等が結合状態にある右紐部 4 0 および左紐部 5 0 に誤って押し付けられるという危険な状態になった場合に、乳幼児衣服 1 0 0 の着用者の安全を守るという目的がある。このため、乳幼児衣服 1 0 0 の着用者である乳幼児の首や体等が結合状態にある右紐部 4 0 および左紐部 5 0 に誤って押し付けられるという危険な状態になった場合、右紐部 4 0 、または左紐部 5 0 のいずれか一方か、または両方が右前身頃 2 1 、左前身頃 2 2 から外れるよう乳幼児衣服 1 0 0 は構成されている。この目的を達成できる範囲において、上記説明した結合部材 4 2 、被結合部材 4 3 は一定の力が加わると外れるというような部材を選定する必要がある。結合部材 4 2 、被結合部材 4 3 は以上のような目的を達成することができる全てのものを含む。また、右紐部 4 0 、左紐部 5 0 の両方の構成に結合部材、被結合部材を含めるか

50

、一方の構成に結合部材、被結合部材を含めるかも本発明の範囲に含まれる。

【００２２】

結合部材６１は、被結合部材４３に対応する結合部材であり、左前身頃２２の裏面に取り付けられている。また、結合部材６２は、被結合部材７１に対応する結合部材であり、左前身頃２２の裏面に取り付けられている。図１に開いた状態にある左前身頃２２を閉じて右前身頃２１に被せた際に、その状態を維持するために結合部材６１および結合部材６２、並びに被結合部材７１は設けられている。そして、被結合部材４３および被結合部材７１に所定の長さを持たせることにより、被結合部材４３および被結合部材７１と、結合部材６１および結合部材６２との結合位置を自由に調整することができるため、左前身頃２２を閉じて右前身頃２１に被せた際に着用者の体型に合わせた位置に左前身頃２２を固定することができる。

10

【００２３】

なお、上記において結合部材６１に対応する被結合部材は、被結合部材４３としているが、これに限るものではなく、別途結合部材６１に対応する（図示しない）被結合部材を設けてもよい。

【００２４】

以上のように乳幼児衣服１００を構成すれば、例えば乳幼児衣服１００の着用者である乳幼児の首や体等が結合状態にある右紐部４０および左紐部５０に誤って押し付けられるという危険な状態になっても、結合状態にある右紐部４０および左紐部５０に一定の力が加われば、右紐部４０が右前身頃２１から外れるため、乳幼児衣服１００の着用者の安全性を確保できる。

20

【００２５】

図２は、本発明の実施の形態における乳幼児衣服２００を示す図である。乳幼児衣服２００は、乳幼児が主として着用する衣服であり、後身頃２１０と、前身頃２２０と、腕を通す袖２３１および２３２と、右紐部２４０と、左紐部２５０と、紐部材２６１乃至２６４とを備える。なお、乳幼児衣服２００において乳幼児衣服１００と同様の機能を有するものは、乳幼児衣服１００において用いた名称を用いることとする。

【００２６】

乳幼児衣服２００における後身頃２１０と、前身頃２２０と、腕を通す袖２３１および２３２とは、それぞれ乳幼児衣服１００における後身頃１１０と、前身頃２１０と、腕を通す袖３１および３２と同様であるため、その説明を省略することとする。

30

【００２７】

乳幼児衣服２００と乳幼児衣服１００との主な相違点は、右紐部と左紐部との結合態様である。乳幼児衣服１００において右紐部４０と左紐部５０とは、結んで結合させているが、乳幼児衣服２００において右紐部２４０と左紐部２５０とは、結合部材２４２と被結合部材２５２とを用いて結合させている。

【００２８】

すなわち、右紐部２４０は、左前身頃２２２に向かって伸びる紐部材２４１と、紐部材２４１の先端に取り付けられた結合部材２４２とにより構成され、左紐部２５０は、右前身頃２２１に向かって伸びる紐部材２５１と、紐部材２５１の先端に取り付けられた被結合部材２５２とにより構成されている。そして、結合部材２４２は、被結合部材２５２に対応する結合部材であり、結合部材２４２と被結合部材２５２とは互いに結合したり、取り外したりすることができ、着脱可能な状態にある。

40

【００２９】

また、紐部材２４１の後端は右前身頃２２１の右胸部付近に縫い付けられることにより取り付けられており、紐部材２４１の先端には結合部材２４２が取り付けられている。また、紐部材２５１の後端は左前身頃２２２の裏面脇部分付近に縫い付けられることにより取り付けられており、紐部材２５１の先端には被結合部材２５２が取り付けられている。なお、紐部材２４１および紐部材２５１の前身頃２２０における取り付け位置は上記に限るものではなく、その他の位置であってもよい。

50

【 0 0 3 0 】

紐部材 2 4 1 の先端に取り付けられた結合部材 2 4 2 と、紐部材 2 5 1 の先端に取り付けられた被結合部材 2 5 2 とを結合させることにより、乳幼児衣服の着用者の体に右前身頃 2 2 1 をフィットさせることができる。そして、結合部材 2 4 2 および被結合部材 2 5 2 は図 2 に示すように所定の長さを有するため、着用者の体型に合わせて結合部材 2 4 2 と被結合部材 2 5 2 との結合位置を調整することができる。

【 0 0 3 1 】

そして、乳幼児衣服 2 0 0 の着用者である乳幼児の首や体等が結合状態にある右紐部 2 4 0 および左紐部 2 5 0 に誤って押し付けられるという危険な状態になった場合、右紐部 2 4 0 と左紐部 2 5 0 との結合が外れるように乳幼児衣服 2 0 0 は構成されている。この目的を達成できる範囲において、上記説明した結合部材 2 4 2、被結合部材 2 5 2 は一定の力が加わると外れるというような部材を選定する必要がある。

10

【 0 0 3 2 】

なお、紐部材 2 4 1 の後端および紐部材 2 5 1 の後端の右前身頃 2 2 1 および左前身頃 2 2 2 等への取り付けは、縫い付けに限るものではなく、その他の取り付け態様であってもよい。すなわち、図 1 において説明したように紐部材 2 4 1 の後端、または紐部材 2 5 1 の後端に結合部材を取り付け、右前身頃 2 2 1、または左前身頃 2 2 2 等の所定の位置に被結合部材を取り付けて、その結合部材と被結合部材とを結合させることにより、紐部材 2 4 1 の後端および紐部材 2 5 1 の後端を右前身頃 2 2 1 および左前身頃 2 2 2 への取り付けるようにしてもよい。

20

【 0 0 3 3 】

この場合、乳幼児衣服 2 0 0 の着用者である乳幼児の首や体等が結合状態にある右紐部 2 4 0 および左紐部 2 5 0 に誤って押し付けられるという危険な状態になった場合、右紐部 2 4 0 と左紐部 2 5 0 との結合以外にも、右紐部 2 4 0 と右前身頃 2 2 1 との結合、左紐部 2 5 0 と左前身頃 2 2 2 との結合のいずれかが外れるため、乳幼児衣服の着用者の安全性をより高めることができる。

【 0 0 3 4 】

また、紐部材 2 6 1 乃至 2 6 4 は、図 1 で説明した乳幼児衣服 1 0 0 における結合部材 6 1 および 6 2、被結合部材 4 3 および 7 1 に対応するものである。すなわち、図 2 に開いた状態にある左前身頃 2 2 2 を閉じて右前身頃 2 2 1 に被せた際にその状態を維持するため、紐部材 2 6 1 と 2 6 2、並びに紐部材 2 6 3 と 2 6 4 とを結ぶ。この態様を図 1 における乳幼児衣服 1 0 0 や後述する乳幼児衣服 3 0 0 に用いてもよい。また、乳幼児衣服 1 0 0 における結合部材 6 1 および 6 2、被結合部材 4 3 および 7 1 の態様を乳幼児衣服 2 0 0 に用いてもよい。

30

【 0 0 3 5 】

図 3 は、本発明の実施の形態における乳幼児衣服 3 0 0 を示す図である。乳幼児衣服 3 0 0 は、乳幼児が主として着用する衣服であり、後身頃 3 1 0 と、前身頃 3 2 0 と、腕を通す袖 3 3 1 および 3 3 2 と、右紐部 3 4 0 と、左紐部 3 5 0 と、結合部材 3 6 1 および 3 6 2、被結合部材 3 7 1 とを備える。なお、乳幼児衣服 3 0 0 において乳幼児衣服 1 0 0 と同様の機能を有するものは、乳幼児衣服 1 0 0 において用いた名称を用いることとする。

40

【 0 0 3 6 】

乳幼児衣服 3 0 0 における後身頃 3 1 0 と、前身頃 3 2 0 と、腕を通す袖 3 3 1 および 3 3 2、結合部材 3 6 1 および 3 6 2、被結合部材 3 7 1 とは、それぞれ乳幼児衣服 1 0 0 における後身頃 1 0 と、前身頃 2 0 と、腕を通す袖 3 1 および 3 2、結合部材 6 1 および 6 2、被結合部材 7 1 と同様であるため、その説明を省略することとする。

【 0 0 3 7 】

乳幼児衣服 3 0 0 と乳幼児衣服 1 0 0 との主な相違点は、右紐部と左紐部との結合態様である。すなわち、乳幼児衣服 3 0 0 においては、乳幼児衣服 1 0 0 における紐部材 4 1 と紐部材 5 1 とを一体化して、1つの紐部材 3 8 0 としている。なお、紐部材 4 1 と紐部

50

材５１とを一体化しても本発明においては右紐部と左紐部とにより構成されていると捉えることとする。

【００３８】

そして、紐部材の両端には、結合部材３８１および３８２が取り付けられ、右前身頃３２１および左前身頃３２２には結合部材３８１および３８２に対応する被結合部材３８３および３８４が取り付けられている。なお、紐部材３８０と、右前身頃３２１および左前身頃３２２との上記結合態様は一例であって、紐部材３８０の両端のいずれか一方を縫い付けにより取り付けるようにしてもよい。

【００３９】

以上説明したように、本発明の実施の形態における乳幼児衣服１００乃至３００によれば、例えば乳幼児衣服１００乃至３００の着用者である乳幼児の首や体等が結合状態にある右紐部および左紐部に誤って押し付けられるという危険な状態になっても、結合状態にある右紐部および左紐部に一定の力が加われば、右紐部が右前身頃２１から外れるため、乳幼児衣服１００の着用者の安全性を確保できる。

10

【００４０】

なお、以上説明した本発明の実施の形態における乳幼児衣服１００乃至３００における特徴ある各要素、例えば左紐部、右紐部の構成を可能な限り組み合わせた様々な乳幼児衣服も当然本発明の範囲に含まれる。また、本発明の実施の形態における乳幼児衣服１００乃至３００においては、乳幼児衣服下端部が開放されたタイプの乳幼児衣服を例に挙げて説明したが、これに限るものではなく、乳幼児衣服下端部が両足を通す部分以外を閉じたタイプの乳幼児衣服・その他の全ての形状の乳幼児衣服下端部を有する乳幼児衣服も本発明の範囲に含まれる。さらに、左紐部の取り付け位置は、上記説明した位置以外の本発明の乳幼児衣服の左側のいずれかの位置に取り付けられていてもよく、同様に、右紐部の取り付け位置は、上記説明した位置以外の本発明の乳幼児衣服の右側のいずれかの位置に取り付けられていてもよい。

20

【００４１】

なお、本発明の実施の形態は本発明を具現化するための一例を示したものであり、これに限定されるものではなく本発明の要旨を逸脱しない範囲において種々の変形を施すことができる。

30

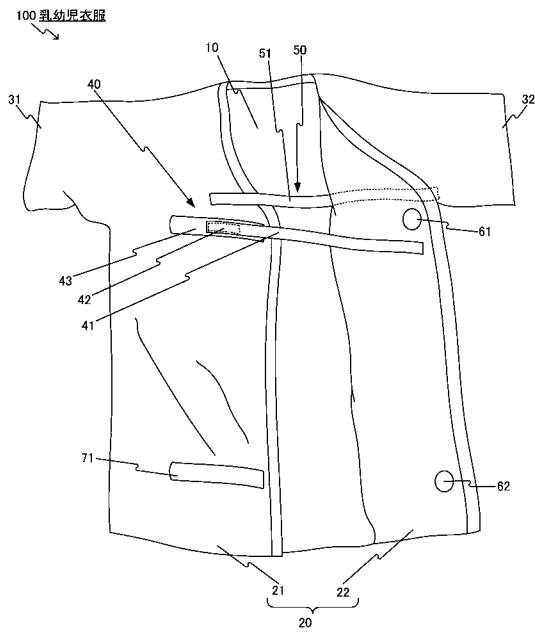
【符号の説明】

【００４２】

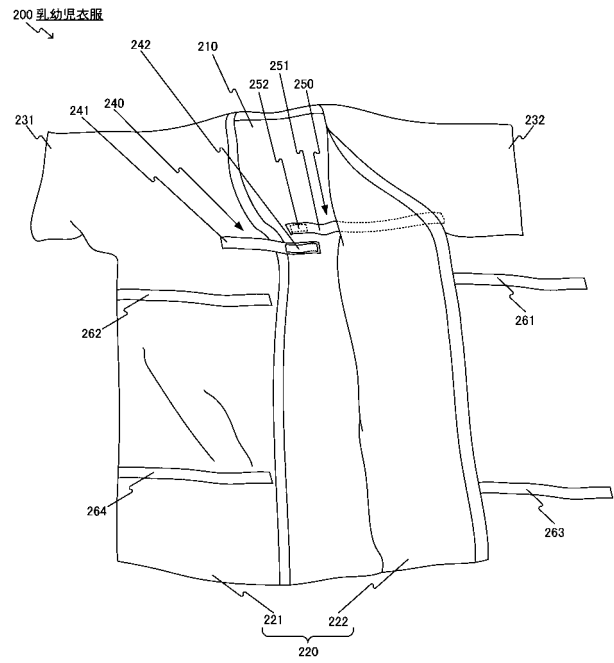
１０、２１０、３１０ 後身頃
 ２０、２２０、３２０ 前身頃
 ２１、２２１、３２１ 右前身頃
 ２２、２２２、３２２ 左前身頃
 ３１、３２、２３１、２３２、３３１、３３２ 袖
 ４０、２４０、３４０ 右紐部
 ４１、２４１ 紐部材
 ４２、６１、６２、２４２、３６１、３６２、３８１ 結合部材
 ４３、２５２、７１、３７１、３８３ 被結合部材
 ５０、２５０、３５０ 左紐部
 ５１、２５１、２６１、２６２、２６３、２６４、３８０ 紐部材
 １００、２００、３００ 乳幼児衣服

40

【 図 1 】



【 図 2 】



【 図 3 】

